



ガッ! 牛乳娘の
下着!



モオオオ

はいはい、
今日も元気が
よろしいようでっ

ふっ…っ

てかあんたっ！
また寝坊してっ！

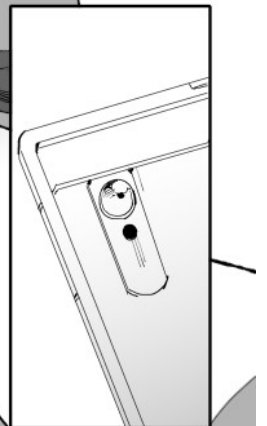
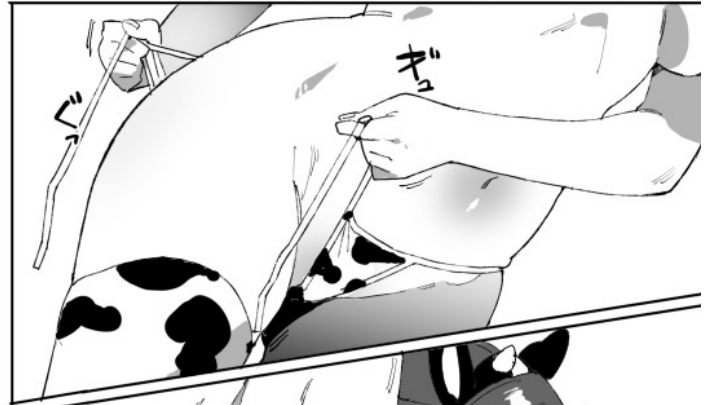
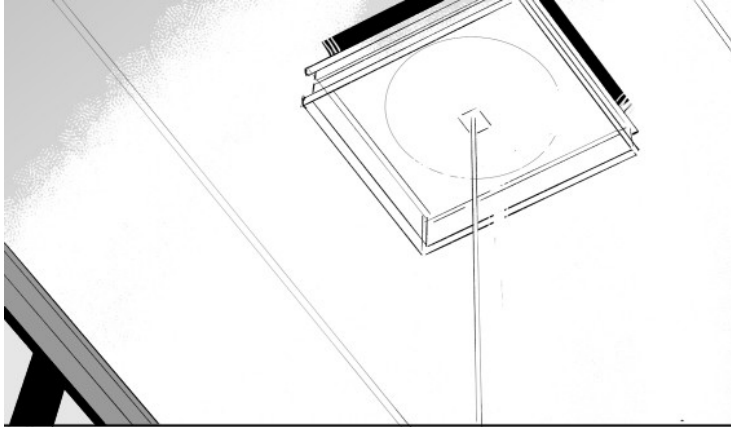
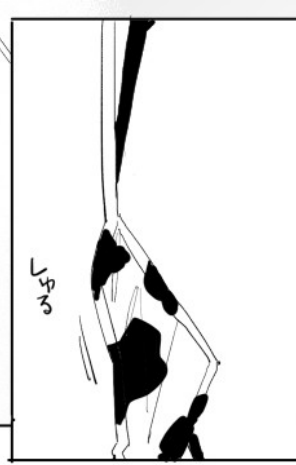
おかげで
こんな時間まで
作業するハメになった
じゃないっ！

ちよつとは
このか弱い乙女を
劳いなさいっ！

揉んでほらっ
マッサージい！

ぽんっ





我ながら、んー...
なかなか...







きつと
数え間違え
たのよ!!

泥棒とか
言っただけど

まうん
全員無事ね



あああ...
こんな格好で
出歩いて...

フラ

フラ

興奮して
頭くらくら
して来てる...



まずいつ

ムラムラ
するっ!!



きんきんきん
帰ろっ!!

はあ

はあ

帰って...
その...



最近して
なかったし...



我慢、出来ない
かもっ!

こここで
しちゃおうかな...





は、は…
あれが
牛泥棒？

何よこれ、
あたしに
どうしろと…？

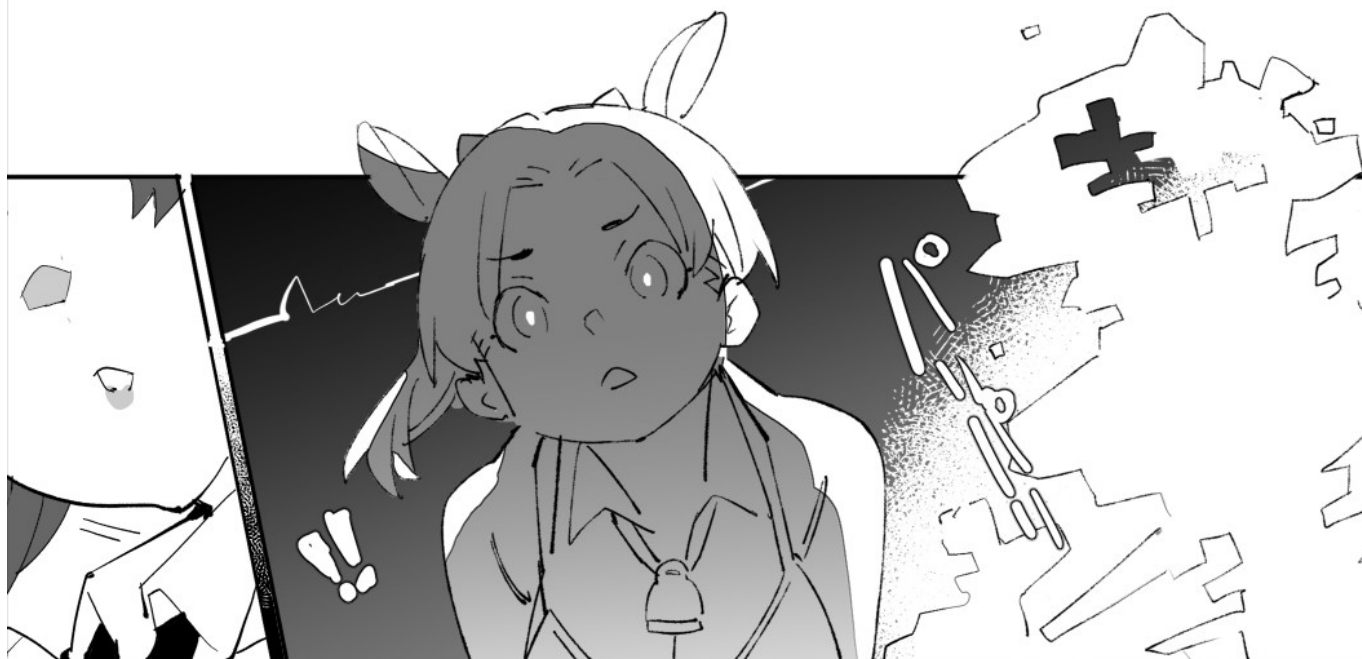
この場合通報は…
何、地球防衛軍とか？
…ハハハ。

やつ、
ちよっと！

セュン

まって、
牛じゃない
わよっ

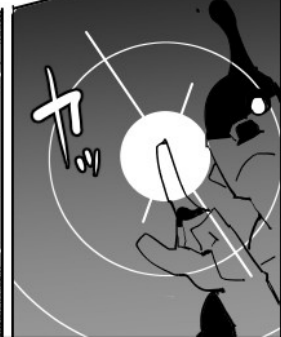
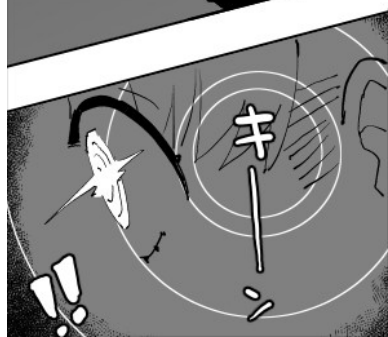
うわあーっ





宇宙人ッ：
しかも肉体派ッ!!

こわこわこわっ
逃げなきゃ!!



あ…あれ、
怖くなくなった…？
なんで、こんな…

動こうと思えば
動けそうなのに…

抵抗する気が
なくなっちゃった…

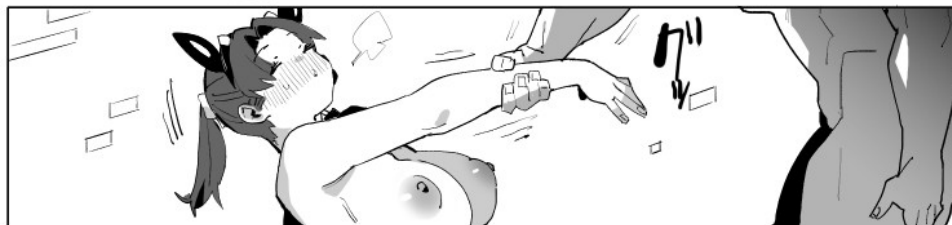
ああ…
ふわふわして
いい気分…

…？

…おっぱい？













あれ…あたし
寝ちゃってた？

……

……

……ん

……

……

…はっ!!

なになっ
なにやってんのよ
あんたっ!!

あっ、まさか
助けに!?

あ…っ
やめっ…

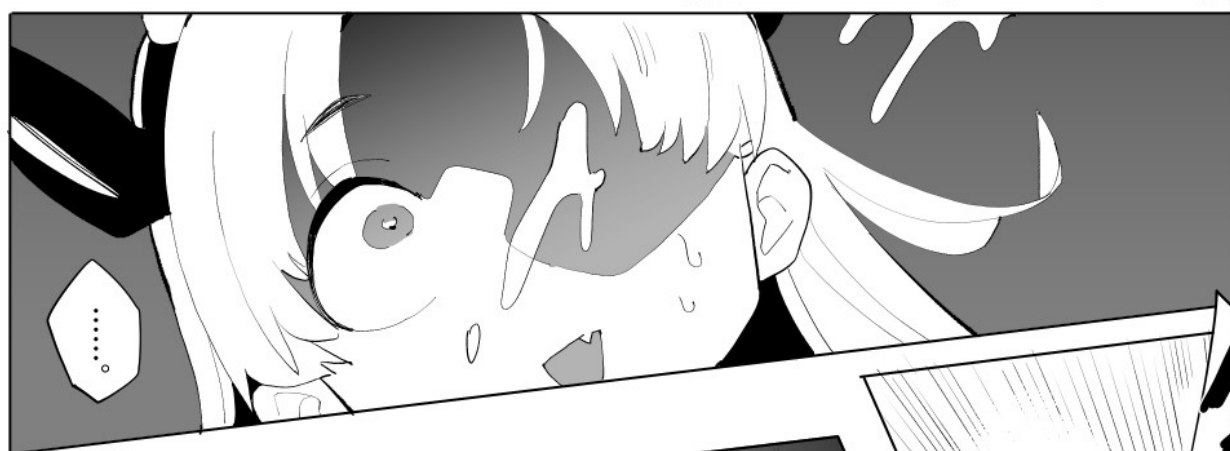
嘘でしょっ
挿入れる気っ!!

え？
ちよっと、
何よっ!

こんな時に
冗談やめてっば

あ、あんた…っ

……？



駄目だコイツ...
完全にアッチ側ねっ







何よっ

あたしと
エッチ出来て
幸せでしょっ！

さっさと
チ○ポ
貸しなさいっ！

ふふ...

今度はあんたが
あたしにされるが
ままになるのよ...

ほらっ
いけっ

イケっ

気持ちいいっ？
幸せ？

普段からセクハラしまくる
ぐらい欲情してた女に
相手してもらえるの♡

良かったわね
あんたっ♡

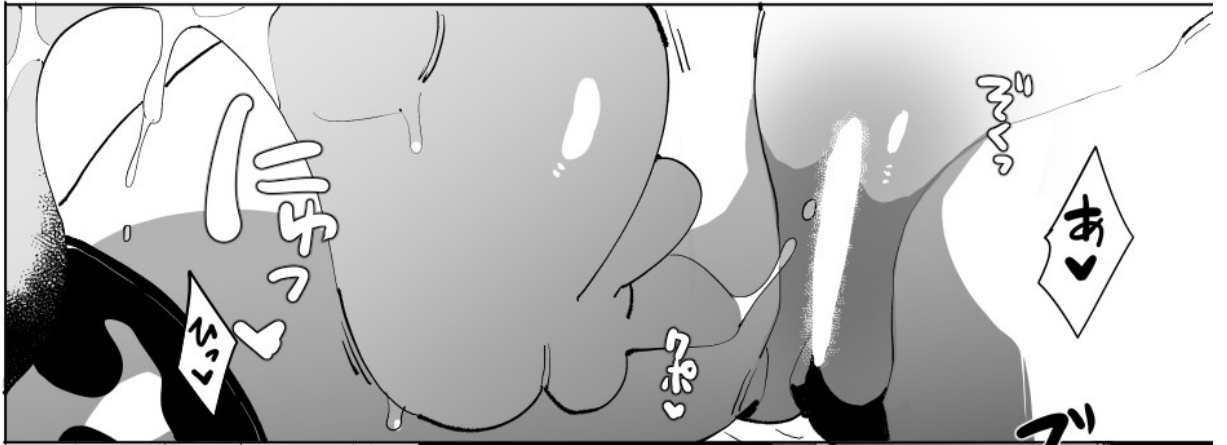
あたしが
催眠...

かかっ
てて













キヤトられ…
催眠、触手…

処女喪失、
中出し…

散々よっ
全くもう…っ





《千帆》

むちむち彼女

うずらによって
度重なるセクハラを受けている

最初は嫌々だったが、
段々と染まっていきエッチな女に…

本人は頑なに認めない。



《うずら》

性に貪欲な低身長従妹

引き籠っていたところを従兄に救い出される
いろいろ抱え込んでいたが今は気持ちが晴れて
エロの探究者に…

培った性癖・知識をすべて千帆にぶつける。

《お兄ちゃん》
《りっくん》
《(店員さん)》

竿役。





私はまだ性に疎い年頃。

ある日、久しぶりにお兄ちゃんの家にかつそり遊びに行ったんです。

なんか今より大人びてない？

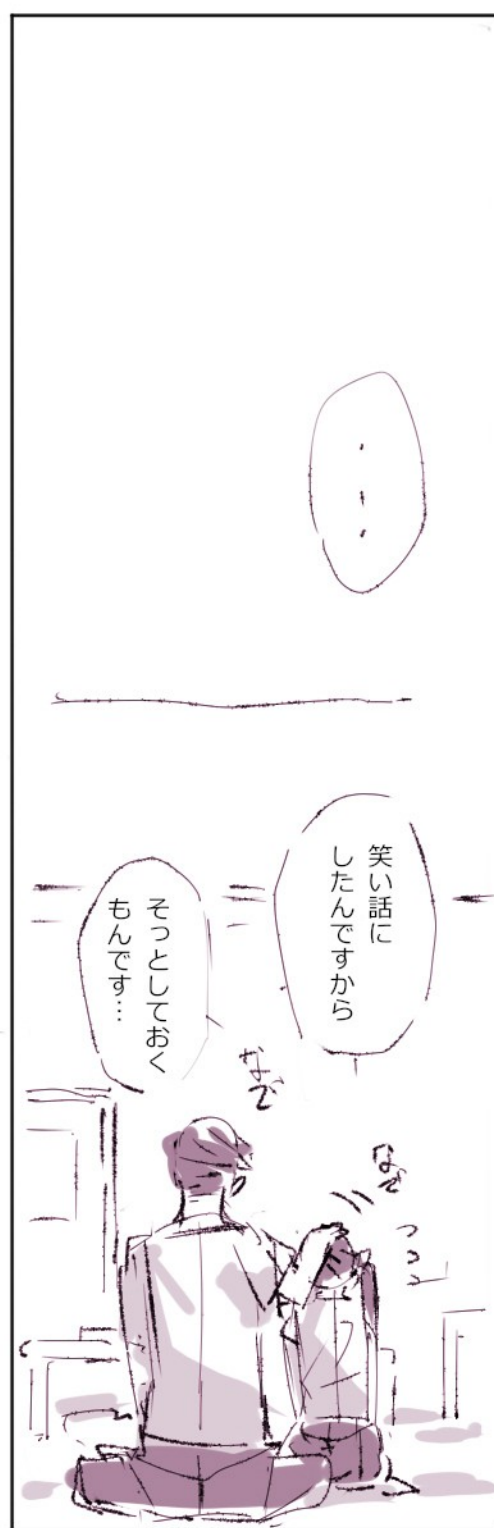
まあ気にせず

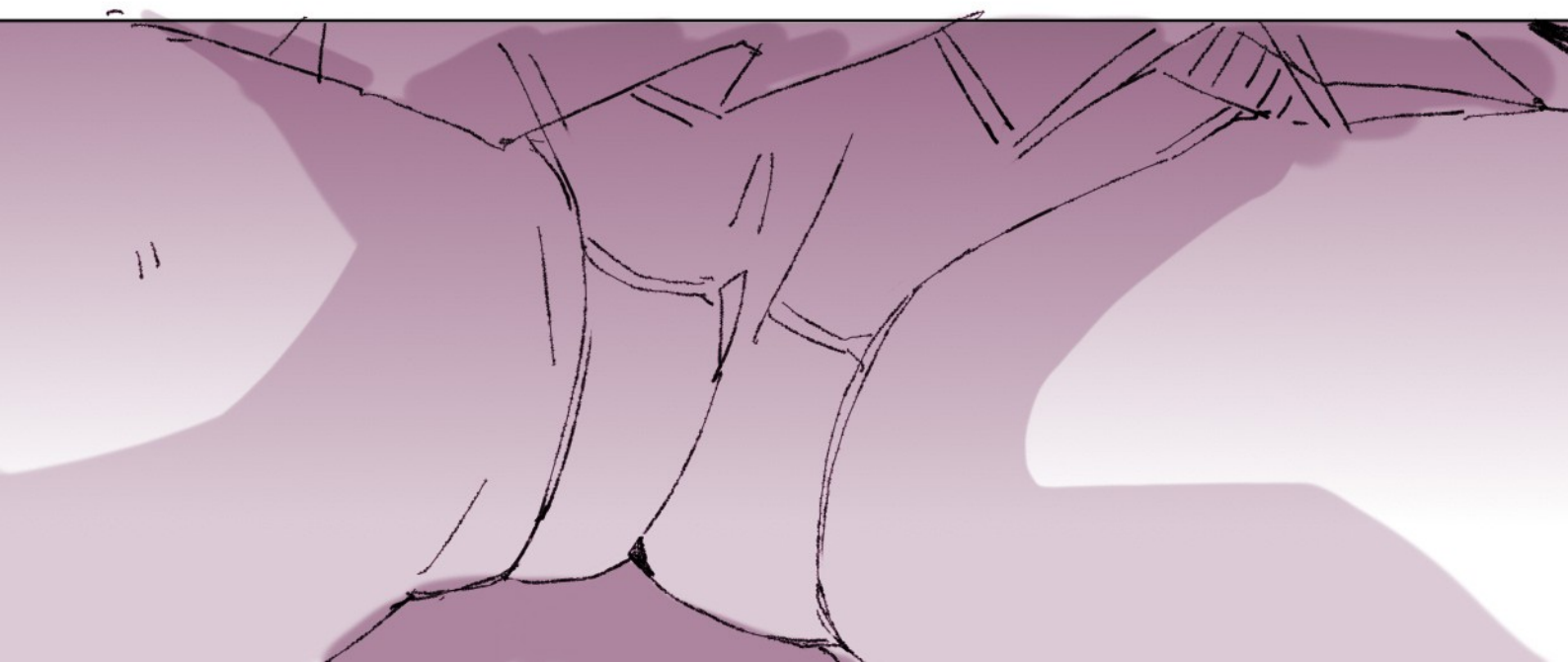
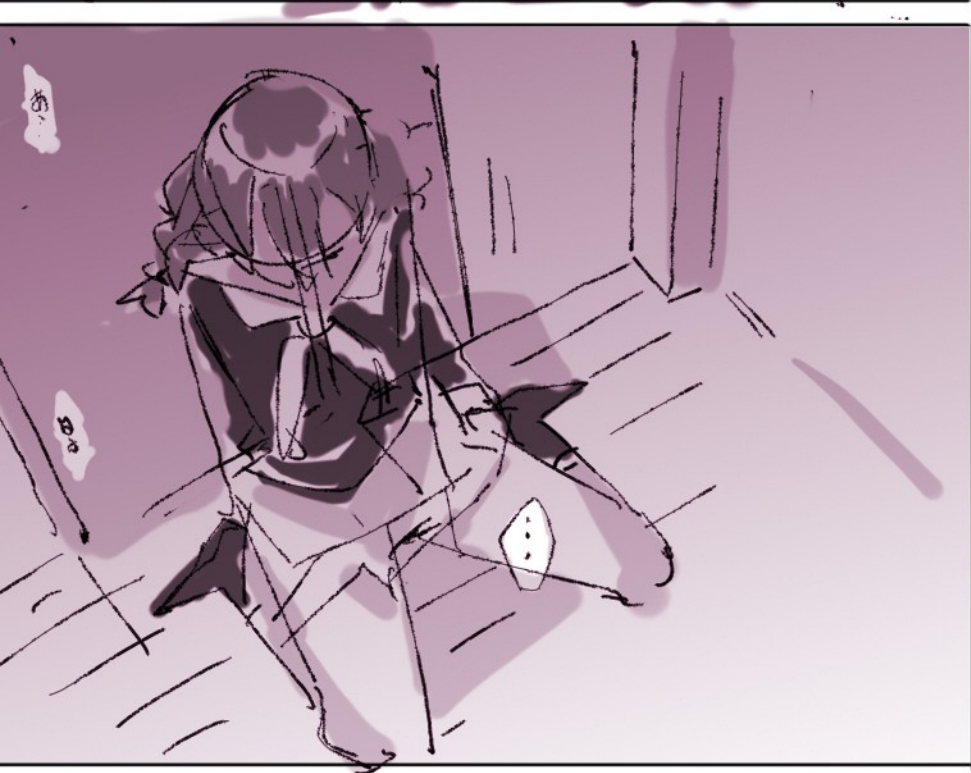
玄関には二人分の靴。

恋人と二人きり、どんな会話をしてるのか興味本位で音を立てず部屋に近づき

ドアの隙間から様子を伺うと…。









…まあでも、
過去は過去

お兄ちゃんと
千帆ちゃんを
見てる今が

んんーっ…

おにいちゃんのせいで
ちよっとおセンチな
気分です…

一番
楽しいんです



お兄ちゃん達が
くっついてから…

私の世界は
急速に小さくなった

ついでに偏った性知識も
飛躍的に開発が進んでいた



誰にも会いたくない
…だけど



それから暫くして…

相変わらず
私の世界は狭まったまま

けど、そこは暗い檻の中
ではなくなった

今だけすべてが
うまくいっている

お兄ちゃんと
同じ空間で

共有してる
視界、時間

そんな気分だった







ふふふ…
なかなかの
出来です！

お兄ちゃん
なんて言うか…

…？



わ、わ、わわわ…

どつから湧いて
出て来たんですか！

イメチェン中を
覗きこむのは
ご法度！

ギャップ萌えが
半減します

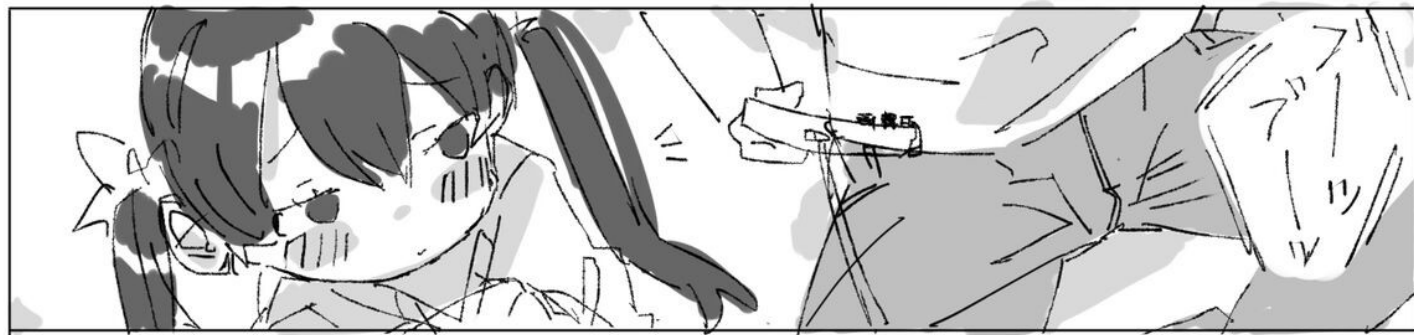
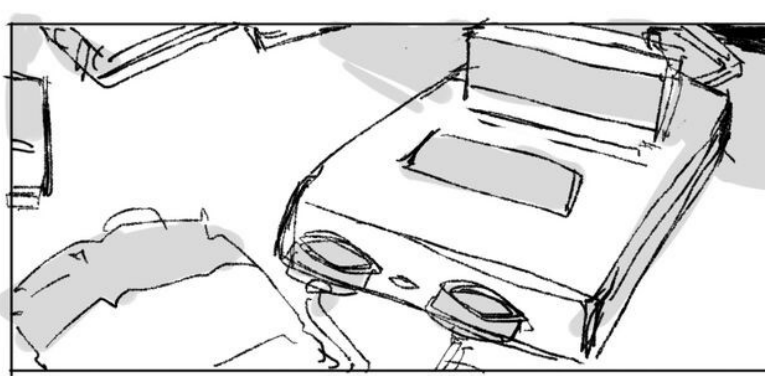
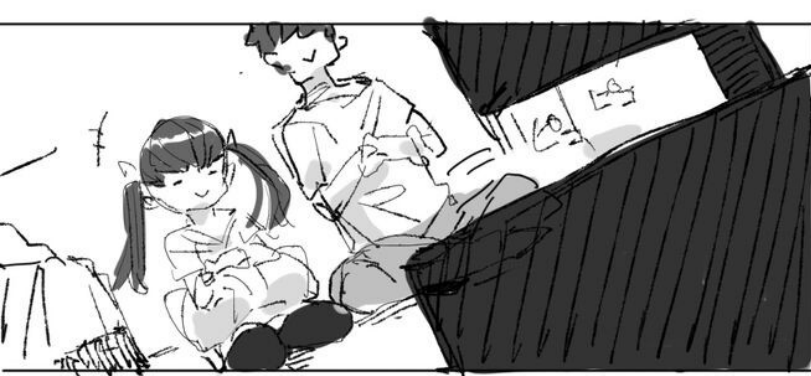
！え…あ

…かわいい？



なら、まあ…
ギリギリ…

ギリギリ
許します…



私が見ていない
ところだ...

千帆ちゃん...
当然ですね
彼女ですし...

もっと
望みたい...

実行する気は
なかったけど...

割って入るための
作戦は考えてました

私だっ！

よし！

いくとこまで
いってやります！



スーパー天然の
千帆ちゃん…

スペシャル朴念仁の
お兄ちゃん…

更には
お兄ちゃんの性癖は
完璧に把握済み



お兄ちゃん…
ちよつと面白い事
考えたんですが…

聞いてくれ
ますか？

…？



前に
言ってみました
よね…

悪徳
リンパものが
好きだつて…



二人が隙だらけなのが
いけないんですよ

二人とも優しくて
信用しすぎて…

私が入る余地を
開けてしまってるんです

だから、
もう我慢しませんよ

私も二人と同じ所で
生きたいんです

作戦：
開始です！

ふふふ…
お兄ちゃん…

千帆ちゃんのエッチな姿…

見たくない
ですか？

ええと…ですね
まずは…

だ、大丈夫です
千帆ちゃんなら
謝れば許してくれます

そうです

私に任せて
ください

奈菜

片思いだと思ってた幼馴染になんやかんやで
調教され、日々性的趣向を開拓させている









警備員「ん…？」

警備員「物音が…」

奈菜「……ッ」

ド
キ
ッ

あ
ん

あ
ん



ねー勘ちゃん、
もうちよつと！

はーっ

はーっ

却下ッ！
撤収！！

あーあーあー